

# 東京都立調布特別支援学校の 防災教育チャレンジプランへの 取り組みとその成果

## 東京都立調布特別支援学校

### 取り組み

- 教職員、保護者、地域などの各組織を活用し、特別支援学校における児童・生徒の「防災・安全教育」を推進する。
- 隣接する国立大学、市立小学校及び地域とで役割分担・整理し、「地域全体での危機管理機能の向上」を推進していく。

# 総合防災訓練(9月26日実施)

ねらい

- ① 実災害を想定して、児童・生徒が引渡しまで一ヶ所に滞在する経験をする。
- ② 親子で避難所の雰囲気を経験する。
- ③ 実災害を想定して、児童・生徒が滞在中で、引渡し場所、(福祉)避難所、帰宅支援ステーションなどの設営にボランティアを利用する。

- ① 避難完了後、視覚支援教材を使って地震の防災教育を行いました。



② 避難所体験 座ったり横になったりして広さや高さを体験しました。



③ リソースネットが中心となって、防災ボランティアに指示を出しながら避難所ブースを設営しました。



避難所ブース完成図 1区画 1, 8m×1. 8m



## 校内研究 防災安全教育分科会の取り組み

今年度の実践と次年度への課題

# 実践報告1

## ・小学部1年生 生活単元学習「歩行」

ねらい

○災害が起きたときに集団で避難する事を想定し、校内歩行を通して友達や先生と集団でまとまって静かに歩くことを経験する。

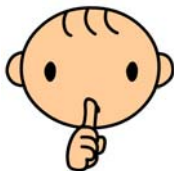
- ・避難訓練時にも使用されている「おさない・はしらない・しゃべらない」を肯定語に置き換えて伝えた。

1



みんないっしょに

2



しずかに

3



あるく



# 実践報告2

## ・ 小学部5年生 生活単元学習「調理」

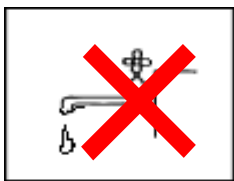
ねらい

○保存食について知る。

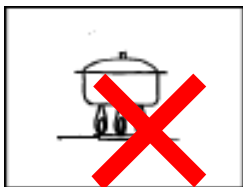
○お湯のみでできる調理方法を知る。

- ・ 当日の授業前に、起震車体験を行っている。
- ・ あえて食べずらい紙皿等を使用した。

## おおきい じしんが おきたら・・・？



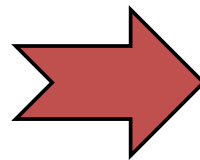
みずが でない



ガスが つかない



でんきが つかない



でも、  
**ほぞんしよく**

なら、だいじょうぶ!

※ 小3 パワポ さんこう



きょうは  
**カップめんの つくりかた**を  
べんきょうするよ!



かんぱん



カップめん



レトルトしよくひん



かんづめ

ながもちして、かんたんにと  
べられるね!

# 実践報告3

## • 中学部3年生 「起震車訓練事後学習」

ねらい

○地震の際に、自分の身を安全に守り、避難する仕方がわかる。

- 7月9日実施の「起震車訓練」の映像を見て、改善点を確認する。
- 改善後の地震の最中に身を守る体勢を実際に練習する。（個別学習）
- 教員の合図で一斉に、身を守る体勢をとる。（時間の短縮化を図る）

## 日常生活の中で、身につけておくこと

- 教員の指示を聞いて、行動すること
- 集団でまとまって、行動すること
- 肯定的な指示をすること
- シンボルやマークなど視覚的に示すこと
- 障害の重い児童生徒も、何らかのコミュニケーション手段を身につけておくこと
- 保存食を食べるなどの避難生活を想定した経験



## 避難訓練などで取り組んでおくこと

- 机の下にもぐるなどを通して、自分の頭を守る経験をすること
- 防災頭巾を自分で持ち出し、被ること
- 避難訓練時における本校でのマークやコミュニケーションボードの統一
- 避難所を体験すること



## 次年度への課題

- 避難訓練時のことば「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」は、否定語が使われているため、肯定語に置き換える。  
→生活指導部で、これまでのことばに代わる肯定語のことばを検討する。
- 保存食を作る、食べる授業を計画的に実践していけるようにする。  
→各学年で、来年度の年間指導計画に盛り込む。

## PTAの取り組み

### 非常時支援要請カード「たすけてカード」の作成

東京都は平成24年10月31日に「ヘルプカード作成のためのガイドライン」を策定した。



これに呼応した形で、「子どもが1人になったときに必要な支援・適切な救助をしてもらえるにはどうしたらよいか」を考え、内容や携帯を検討した。

## 「たすけてカード」

### <ねらい>

◆子ども自身が「ひとりになっても」必要な情報を警察などの救難機関の人に伝えることができることを目指す。

### <内容>

◆連絡先、コミュニケーション方法、パニックなどの障害特性、アレルギー・服薬などの医療情報、身辺介助に必要な情報などをコンパクトに記載

- ・「この子を知る人に連絡を取っていただく」
- ・「誰かに引き取られるまでの間、適切に保護していただく」

ことを可能にするカード

## リソースネットの取り組み

「震災から子ども達を守るために」

# リソース・ネットとは

調布特別支援学校の児童・生徒が安全で豊かな学校生活を送れるように応援する組織



## 防災への取り組み

2012  
2/7

### ・ 公開講座(電気通信大学) 「震災時に障害のある子ども達を守るには…」

- ✓ 被災地から避難所までの状況と子どものケア(味スタ避難者)
- ✓ 震災時の学校と家庭の動き(調布特支&PTA)
- ✓ 調布特別支援学校での震災時の対策について(調布特支)
- ✓ (グループ協議)子ども達を震災から守るためにどのような対策や対応が必要か



# 防災への取り組み

2012  
4/28

## ・ 調布市防災訓練への参加(第一小学校)

- ✓ 「命」に関する授業
- ✓ 避難訓練
- ✓ 引き渡し訓練
- ✓ 地域と連携した避難所開設訓練  
→ いっしょふれあいネットワークとの情報交換



# 防災への取り組み

2012  
7/7

## ・ 公開講座(電気通信大学): 「震災時に障害のある子ども達を守るには…②」

- ✓ 調布市の防災体制について(調布市)
- ✓ 調布特別支援学校が必要とする支援(調布特支)
- ✓ 安全確保・避難への不安と必要とする支援(PTA)
- ✓ 防災時支援ボランティア(調布消防署)
- ✓ 震災時のボランティア活動(調布警察署)
- ✓ (グループ協議)個人、地域、行政の支援について





# 防災への取り組み

2012  
2/7

- ・ **公開講座：震災時に障害のある子ども達を守るには…**  
3月11日の被災地、学校、家庭の様子、地域連携の必要性

4/28

- ・ **調布市防災訓練への参加(第一小学校)**  
避難訓練、避難所開設の見学(学校と地域の関わり)

7/7

- ・ **公開講座：震災時に障害のある子ども達を守るには…②**  
調布市の防災体制, 学校・PTAの求める支援, 防災ボランティア

8/29  
9/26

- ・ **調布特別支援学校総合防災訓練への協力**  
福祉避難所、帰宅困難者支援ステーションの設置

# 今後の予定

2013  
2月

- ・ **公開講座を予定**  
**震災時に障害のある子ども達を守るには…③**

テーマに関するのご意見・ご提案を募集しております。

検討中のテーマ

- ・震災時の役割分担 ～自分達にできること。住民、学生、会社員～
- ・地域連携による防災対策のあり方  
～ニーズとリソースのマッチング(自治体、地区協議会、学校)～

「リソースネット」の詳細情報はWebをご覧ください  
<http://www.human.inf.uec.ac.jp/resourcenet/>



## 成果として得たこと

- ・「日常生活時に身に着けておくべきこと」「避難訓練時など特別に取り組むこと」を整理し計画的に生活単元学習等に防災・安全教育を組み入れることができた。
- ・リソースネットを中心とした地域住民との連携・関係が強くなり、「地域と連携した防災訓練」を始めて実施することができた。

## 今後の課題

- ・複数の組織が関連して、障害のある児童・生徒の実践的な「身を守る力」を育成する。
- ・「調布駅近辺の教育機関を対象とした防災対策連絡会」の定期開催。
- ・実災害に即したバリエーションのある自衛防災訓練の計画及び実施。

御清聴、ありがとう  
ございました。